

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
芸術（音楽）	2年次 前期	必修	講義	1単位（30時間）	高波 礼子
授 業 概 要					
<p>歌唱、楽器、創作、鑑賞を軸に集団、個人での音楽の技術向上と演奏の楽しさを体験し学ぶ。  グループ活動、個別指導、発表形式の学習を行う。  施設訪問演奏なども視野に入れて、実践的な音楽活動を卒業後開始できるよう指導していく。</p>					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 音楽の諸活動を通じて、技能を高め、音楽的理解を深める。</li> <li>2. 音楽に対する豊かな感性と音楽文化を尊重する態度を育てる。</li> <li>3. 生涯にわたり音楽に親しむための豊かな音楽観を育てる。</li> <li>4. 看護学を専門とする中で将来、社会的音楽活動における理解を深める。</li> </ol>					
回	学 習 内 容				担当教員
1-5	<p>リコーダー、ギター、ハンドベル、キーボード、歌唱など、個人の選択により学習を開始する。  鑑賞は視聴覚教材を活用し、豊かな感性を高める。  教材選択をし、楽曲の完成をめざす。  アンサンブルによる集団演奏、個人による演奏を学ぶ。  合唱、合奏。  西洋史を学ぶ。バロック時代まで。</p>				高波 礼子
6-10	<p>上記練習の継続。優れた演奏に触れ、感じたことをレポートにして提出する。  楽曲の途中経過をそれぞれ発表していく。  オルゴール、ウクレレなど実際に楽器を制作する。  世界の民族音楽、日本の伝統音楽を鑑賞する。  実際に演奏し、西洋音楽史を学ぶ。古典派からロマン派まで。</p>				
11-15	<p>歌唱、器楽の基本の充実と表現の工夫をめざす。  映像教材を鑑賞し、感性を磨く。  西洋音楽史を学ぶ。ロマン派以降から現代まで。  教材の鑑賞やコンサートの実践を試みる。</p>				
学 習 方 法					
<p>講義中心の時間と集団での演奏の時間 鑑賞の時間 個人での演奏練習時間 器楽制作の時間 グループでの演奏会のプランニングと実践など、随時、鑑賞 映像教材を使用する。</p>					
評 価 方 法					
<p>〔評価方法〕  レポート提出と演奏発表による実技審査</p>					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
<p>〔教科書〕  女子音楽 カンターレ 音楽の友社</p>					